

特別定額給付金（2020年度）の課題

1 スケジュール（例）

	2020年4月		2020年5月				2020年6月	
	3w	4w	1w	2w	3w	4w	1w	2w
国の動き	▲ 4/20(月) 閣議決定	▲ 4/27(月) 基準日		……給付開始は市町村において決定（可能な限り迅速な給付を目指す）				
システム納品				▲ 申請関連		▲ 振込関連		
						▲ 機能改善		
紙申請								
準備	← 申請書用封筒、返信用封筒の確保 →							
作成・発送				↔ 5/11(月)の週				
受付								
入力								
オンライン申請 (ぴったりサービス)								
受付								
ダウンロード チェック&入力								
口座振込（手作業）								
口座振込（システム） 第1回								

概ね5月中に
第1回目の振込
ができた

【本事業の特徴】

- ・ 給付開始の時期を自治体に委ねながらも「可能な限り迅速な給付」を目指す
- ・ 申請方法が「紙（申請書）」と「オンライン（ぴったりサービス）」の2種類を準備
- ・ 対象者の把握は比較的容易、給付は世帯単位（世帯主）、給付口座は申請によるもの

特別定額給付金（2020年度）の課題

2 自治体給付金システムの課題

1) 納品スケジュール

- ・ 閣議決定から、1週間後に給付金対象者の把握基準日、その2週間後(GWも含め)に第1弾リリース。
- ・ 概ね5月中に第1回目の口座振込を実施。
- ・ 納品スケジュールでの大きな課題はなかった。

2) システム機能

- ・ 実績のあった臨時給付金システムを流用したシステム構成
- ・ 申請書の作成、申請結果(口座情報)の登録、口座振込用データ作成
- ・ 申請送付や口座振込の重複防止チェック、未申請者や不備等による未振込者の把握機能

自治体給付金システム
としては
大きな課題は無い

しかし全体的には
大きく3つの課題

課題
①

紙申請書から自治体給付金システムへのデータ起こしに時間がかかる

課題
②

オンライン申請（ぴったりサービス）の機能不足

課題
③

オンライン申請と自治体給付金システムのデータが繋がらない（膨大な作業量）

特別定額給付金（2020年度）の課題

3 【課題①】 紙の申請書からのデータ起こし

▶ 紙申請書からのデータ起こし(入力)時間が膨大



- ① 紙からのデータ起こしなので、**AI-OCR+RPAの適用**を検討できた。
- ② しかし、それぞれ自治体毎に準備するのは本来ではない。※様式標準化、共通AI-OCR基盤。
※今回の場合は、NTTDataから3ヶ月間の無償貸出しサービスなどの事例もあり

▶ その他

国から提示された申請書標準様式の裏面において、口座確認書類の添付位置が代理申請を行う場合だと勘違いされるケースが多く、書類不備が多かった。

The image shows the back of a standard application form for Special Allowance Payments. It contains instructions for attaching documents. The form is divided into sections for 'Applicant's Personal Confirmation Documents' and 'Bank Confirmation Documents'. The instructions are as follows:

申請者本人確認書類 写し貼付け
・運転免許証のコピー
・マイナンバーカードのコピー
・健康保険証のコピー
・年金手帳のコピー 等

振込先金融機関口座確認書類 写し貼付け
通帳(口座番号が書かれた部分)のコピー
または
キャッシュカードのコピー 等

特別定額給付金（2020年度）の課題

4 【課題②】 オンライン申請の機能不足

▶ オンライン申請内容の不備が多い

<不備の具体例>

- ・申請者が世帯主でないケースが非常に多い（それぞれの口座への振込希望の表れ）
- ・世帯員の入力誤り、過不足
- ・口座情報の入力誤り、特に金融機関情報が古いものが多かった（添付の通帳も古い）
- ・何度もオンライン申請する人が存在（申請の重複）



① 国オンライン申請システムの改善を期待したい。

- ・二重登録チェック機能がない
- ・申請内容（世帯員や口座情報など）はワープロ入力 ※データ連携キー情報が必要
- ・紙申請のように自治体側から情報セットができない ※できるだけ入力しない申請
- ・申請者への受付メール送付タイミング（今回はダウンロードした時点）

② 公的給付支給口座の推進を期待したい。

- ・チェックに係る部分、入力に係る部分は軽減

特別定額給付金（2020年度）の課題

5 【課題③】 オンライン申請と自治体給付金システムのデータが繋がらない

▶ オンライン申請データの入力時間が膨大

前ページに記載したオンライン申請内容の不備チェックにかかる時間だけでなく、確認OKとなったものについて自治体給付金システムへデータ入力する部分にも膨大な時間がかかった。

実際はダウンロードデータを印刷してそれを見ながら入力するという行為。



- ① 国オンライン申請システムの改善を期待したい。
 - ・前頁と同じ
- ② 今のオンライン申請の段階では、ダウンロードデータを整えた（データ連携キー等を付加）上で次の機能を検討できた。
 - ・データの自動取込機能の装備
 - ・RPAを適用してダウンロードデータを自治体給付金システムに入力する機能

特別定額給付金（2020年度）の課題

6 その他課題

▶ 口座振込件数の課題

1回の口座振込の対象件数が膨大でそのままでは金融機関で対応できない



- ① 事前に指定金融機関と調整しておく。
 - ・今回は一時的な対応を施して無事に処理できた

▶ 各自治体様でご苦労された課題

- ① 事前準備
 - ・封筒（申請書送付用、返信用）の確保
 - ・要員の確保（体制）
 - ・端末の確保
 - ・電話回線の増設
- ② 制度
 - ・転出転入に対する国の見解が途中で変わり、それぞれの自治体の対応が異なったため対象となる人についてすべて関係自治体に電話確認する必要があった。